

記入例

出席停止期間を経過し、学校へ提出する日を記入

令和 2 年 1 月 16 日

学校長 様

インフルエンザ経過報告書

児童生徒の学級・名前 (3 年 1 組 名前: 西脇 一郎)

保護者名・印 (西脇 太郎)



下記のとおり、発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過しましたので、出席停止措置の中止をお願いいたします。

記

- 1 発症日: 令和 2 年 1 月 9 日 (木)
- 2 診断日: 令和 2 年 1 月 10 日 (医療機関名 西脇病院)
- 3 診断型: A 型・B 型・不明 (該当する項目に○を記入ください。)
- 4 処方薬: ()
服用期間: 令和 2 年 1 月 10 日～令和 2 年 1 月 15 日
(処方された薬の名前と服用期間を記入してください。)

5 体温の記録

発症から
0 日目
1 日目
2 日目
3 日目
4 日目
5 日目
6 日目

体温測定日	測定時間: 体温	測定時間: 体温
1 月 9 日	午前 7 時 15 分: 37 度 7 分	午後 6 時 30 分: 38 度 2 分
1 月 10 日	午前 7 時 25 分: 38 度 4 分	午後 6 時 45 分: 38 度 5 分
1 月 11 日	午前 8 時 05 分: 38 度 8 分	午後 7 時 10 分: 38 度 7 分
1 月 12 日	午前 8 時 00 分: 38 度 2 分	午後 7 時 15 分: 37 度 6 分
1 月 13 日	午前 7 時 20 分: <u>37 度 8 分</u>	午後 6 時 25 分: <u>36 度 7 分</u>
1 月 14 日	午前 7 時 15 分: <u>36 度 5 分</u>	午後 6 時 30 分: <u>36 度 3 分</u>
1 月 15 日	午前 7 時 15 分: <u>36 度 4 分</u>	午後 6 時 15 分: <u>36 度 6 分</u>
月 日	午前 時 分: 度 分	午後 時 分: 度 分

(発熱期間が長く、解熱 2 日が記録できない場合は、裏面、あるいは別の記録用紙を添付するなどしてください。)

学校保健安全法施行規則第 19 条第 2 項による、インフルエンザによる出席停止期間の基準は、「発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過するまで」とされています。

受診日ではなく、医師が診断した発症日を記入

解熱した場合でも、発症後 5 日を経過するまでは、体温を測定ください。

1 日につき、午前 1 回・午後 1 回体温を測定し、記録

解熱

記入例の場合、発症した後 5 日、かつ、解熱後 2 日の基準を 1 月 16 日の時点で経過したことになりますので、1 月 16 日以降に出席可能となります。